

第45回 ことう地域チームケア研究会
2020.9.10（木）

地域リハビリテーション

～一人ひとりのエンパワメントを高めるかかわりとは～

医療法人 恭昭会
彦根中央病院
リハビリテーション科
理学療法士 北川 裕士

地域リハビリテーション

住み慣れたところで、一生
安全に、その人らしくいき
いきとした生活ができるよ
う協力し合って行なう活動



推進課題

- ▶ **1.リハビリテーションサービスの整備と充実**
 - 介護予防、障害の発生・進行予防の推進
- ▶ **2.連携活動の強化とネットワークの構築**
 - 医療介護・施設間連携の強化
- ▶ **3.リハビリテーションの啓発と地域づくりの支援**
 - 介護予防にかかわる諸活動を通じた支えあいづくりの強化

活動指針

- ▶ 1. 障害の発生は予防することが大切
- ▶ 2. リハビリテーションサービスは急性期から回復期、生活期へと遅滞なく効率的に継続される必要
- ▶ 3. できる限り社会参加を促し、また生あるかぎり人間らしく過ごせるよう支援が必要



エンパワメントとは、

- ▶ 自分自身の生活や環境をよりコントロールできるようにしていくことである。

介護職が行うサービス、支援はエンパワメントが目的

- ▶ 介護保険制度では、「自らの能力に応じて自立した生活を継続することを目指す」
- ▶ 介護職は、エンパワメントを達成するためにチームアプローチを行いながら、サービス、支援を提供することになります。

介護予防サービスとは

- ▶ 高齢者ができる限り要介護状態に陥ることなく、また、状態の悪化を防ぐために生活機能の維持向上や改善を目的としたサービスです。

介護予防サービスは以下のような内容になっています。

- 介護予防訪問入浴介護
- 介護予防訪問看護
- 介護予防訪問リハビリテーション
- 介護予防通所リハビリテーション
- 介護予防福祉用具貸与
- 介護予防短期入所生活介護
- 介護予防短期入所療養介護
- 介護予防居宅療養管理指導
- 介護予防特定施設入居者生活介護

介護予防通所リハビリテーション (デイケア) とは

- ▶ 理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等による機能の維持回復訓練や日常生活動作訓練が受けられるリハビリテーション中心のサービスです。

介護予防・日常生活支援総合事業 (総合事業) とは

- ▶ 年齢や心身の状態を考えて自立支援に関する取り組みを推進するために、リハビリを中心とした介護予防の機能強化を図るよう構成されています。

介護予防・生活支援サービス事業
には以下の4つのサービスがあり
ます。

1. 訪問型サービス
2. 通所型サービス
3. その他の生活支援サービス
4. 介護予防支援事業（ケアマネジメント）

運動器機能向上リハビリ

<p>身体機能面 下肢筋力MMT4(MMT：徒手筋力テスト0～5の6段階) 体幹筋力MMT 本人の希望 筋力をつけて家事もできるようになりたい。</p>	<p>運動に際してのリスク 脱臼肢位に気を付ける。 全体目標 医院やコンビニくらいまで、歩いて行けるようになっていたい。 毎日、リハビリに取り込む。天気の良い日は良い姿勢で歩く。 立位保持時間を延長し、家事などご自宅での動作をさらにスムーズにできるようになる。</p>
<p>短期目標 下肢・体幹筋力増強 立位での静的・動的バランス改善 屋内歩行の安全性向上屋外歩行安全性向上 家事動作全般を行いやすくする</p>	<p>プログラム 集団体操 個別リハビリ 関節可動域練習 筋力増強練習 屋外歩行練習 日常生活動作訓練</p>
<p>変化・改善 現状維持されております。</p>	<p>実施内容 立位で上肢を挙上したり、リーチするような運動を苦手とされており、その際には腹部周辺の疲労感を訴えられます。リハビリでは体幹及び股関節周囲の筋力トレーニングを臥位や立位で行って頂いており、立位での活動時間の延長を目標に行っております。引き続きご本人の状態に応じて支援を行っていく考えです。</p>

介護予防評価

[評価期間]		平成30年 1月 18日 ~ 平成 30年 4月 5日									
評価項目		事前(1月 18日)				事後(4月 5日)				評価(変化値)	
		右		左		右		左		右	左
握力	(筋力)		kg		kg		kg		kg		
ファンクショナルリーチ	(動的バランス)							cm	=		
開眼片脚立ち	(静的バランス)		秒		秒		秒		秒		
Timed up Go	(複合動作能力)				秒				秒		
最大歩行速度	(歩行能力)				秒				秒		

体力測定評価

全体的に向上傾向にあります。

目標に対しての評価

目標	転倒することなく、安全に歩行が出来る。									
	リハビリで習った運動を自宅でも行うことが出来る。									
結果	達成できた	ほぼ達成できた	もう少し出来なかった	出来なかった						

総合評価

全体的に能力の向上を認めます。体幹近位筋の筋持久性が乏しい為、支持物が無い状態での長時間の立位保持は困難なものの、身体機能に大きな変化はなく安定して過ごされております。引き続き立位での動作がより行い易くなる様にアプローチを行っていく考えです。

まとめ

- ▶ 介護保険の目指すものはまさしく、エンパワメントを達成して自らの能力に応じた生活を継続すること
- ▶ 介護職は、介護の専門職として、ケアマネジメントにおけるチームアプローチの一員として、日常的なサービス、支援の提供場面でも、常にエンパワメントを意識して、利用者へのかかわりを行う必要があります。